

後援会ニュース

2024年8月号（部内資料）

発行 日本共産党かすみがうら市後援会

〒315-0053 かすみがうら市稲吉東4-5-18

TEL029(834)7366 FAX 029(834)7367

2024年度後援会総会開催

7月27日（土）下稲吉コミュニティーセンターで、塩川鉄也衆院議員を迎えて日本共産党かすみがうら市後援会総会を行いました。

塩川氏は、「赤旗の裏金問題の追及で自民党は窮地に陥っている。今や企業団体献金禁止の声は8割に上っており、自民党だけが抵抗している。一方で岸田政権は軍事費優先の政治で国民のいのちと暮らしを脅かしている」と具体例をあげ批判し、日本共産党の経済再生プランを語り、自民党政治を終わらせようと訴えました。

30名を超える方が参加し、参加者からは、日本のジェンダー指数が156カ国中118位という現状や共産党の党名についてなど質問がありました。

【2024年 活動方針】

- ① 総選挙を前に、共産党を知るつどいを開催する。
- ② 後援会員の交流、親睦を図る旅行などを計画する。
- ③ 後援会ニュース編集体制を確立して、ニュースの内容を豊かにしていく。
- ④ 後援会ニュースの読者を特に次世代に広げていく。
- ⑤ 市民の困りごとの相談や地域の要求実現運動に力を尽くす。



後援会会長の挨拶

かすみがうら市では革新的な宮嶋市長が誕生してから2年が経ち、市長派議員と佐藤議員が連携しての奮闘により希望が持てる市政になってきていると思います。一方、国政では、最近テレビ朝日の世論調査で、自公政権継続期待が38%に対して政権交代の期待43%となっています。私たちは市民と日本共産党を含めた野党共闘が国民の期待に応える最良の形だと考えています。それには共闘の要である共産党を強く大きくすること後援会をもっと広げて勢いを示すことです。

皆さん、共に頑張りましょう。

高齢者の補聴器に補助を！年齢による聴覚の衰えは

40歳ごろから始まり70歳以上では、約半数にあるといわれています。放置していくとコミュニケーションを困難にするなど日常生活の質を落とす原因になります。土浦市、つくば市など県内8市町村で補聴器購入補助が実施されています。

かすみがうら市でも高齢者の補聴器購入に公的補助を求めていきましょう。請願署名にご協力ください。返信用封筒で返送していただくと幸いです。

百里基地視察

航空自衛隊百里基地を8月2日、塩川鉄也衆院議員と岩淵友参院議員と共に視察しました。

百里基地では、核・化学・生物兵器攻撃にも対処するという基地強靱化の施設整備として200棟近い建物の建替や改修が計画されています。アラート待機用の格納庫の整備、航空機隠蔽（いんぺい）用施設、分散パッドなどの建設も予定されています。

およそ10年間で300～500億円の施設整備費をつぎ込む大軍拡の環境です。

また、航空機火災の泡消火薬剤に由来するPFAS汚染の懸念や火薬取締法に抵触する火薬庫の保安距離が不足していた問題もあります。

同行した百里基地反対同盟の梅澤優氏は、自衛隊幹部の説明には「嘘と誤魔化しがある」と批判し、原発関連施設を標的にした航空訓練や住民の暮らしを脅かす夜間訓練を強行していると語っていました。

百里航空自衛隊は、日米訓練だけでなくフランス・ドイツ・イタリアなどとの共同訓練を行っています。NATO軍事同盟を想起させる動きはまさに「戦争準備」です。自衛隊員や施設を守るとして強靱化を図るよりも戦争させない「外交」にこそ憲法9条をもつ日本のやるべきことではないでしょうか。そのことを痛感した視察でした。

佐藤文雄

